

**研究開発課題「地域資源活用型探究学習による地域と世界を結ぶ科学技術人材の育成」**

平成29年度文部科学省からスーパーイエンスハイスクール（SSH）第2期の指定を受けました。本号では令和元年度前半に行われた事業や、今年度初の試み「International Micro plastics Youth Conference 2019 海と日本」について紹介したいと思います。

**第7回 高校生環境フォーラム**

7月20日、おおい町総合運動公園体育館にて第7回高校生環境フォーラムを実施しました。環境フォーラムとしては初となる、台湾4校、アメリカ1校の参加があり、全生徒全て英語での発表で行いました。口頭でのステージ発表は代表校4校が登壇し、東京海洋大学教授佐々木剛先生がご講評くださいました。午後からは、参加校によるポスター発表を行いました。ワークショップでは「課題研究によって身につく力とは」について「えんたくん」を囲み、福井大学准教授遠藤貴広先生が講師として参加してくださり大変議論が深まりました。本校生徒・台湾・アメリカ・県内外の高校生が口頭発表やポスター発表を通して交流し、新たな視点を見つけ次のステップにつながるフォーラムとなりました。

**参加校**

- ・八斗高校（台湾）・暖暖高校（台湾）
- ・基隆高校（台湾）・中山高校（台湾）
- ・アニモリーダーズハイスクール（米国）
- ・東海大学付属高輪台高等学校
- ・京都光華高等学校・京都府立西舞鶴高等学校
- ・福井県立高志高等学校・福井県立藤島高等学校

**International Micro plastics Youth Conference 2019 海と日本**

7月21日、京都大学百周年記念館にて、「International Micro plastics Youth Conference 2019 海と日本」を実施しました。

本校生徒は、2016年からマイクロプラスティックの海洋汚染の研究をスタートしました。はじめは自分たちの住んでいる前浜のプラスティックを数えることから始めましたが、本当に解決するためには海外と連携し、協力していくことが重要であると気づき、アメリカサンフランシスコ・ロサンゼルスをはじめ、徐々に台湾、シンガポール、フィリピンと海外連携校を増やしていました。「研究ばかりでなくアクションしないと意味がない」と、アメリカ・アニモリーダーズハイスクールの生徒から提言を受け、会議を開催することとなりました。

**◆ユースカンファレンスの内容◆****1.講演**

京都大学大学院地球環境学堂准教授 田中周平先生から「マイクロプラスティック汚染の現状」について研究事例を詳しくご紹介いただきました。会場からは、たくさんの質問が出されました。

**2.ポスター発表**

午後からは、本校生徒の他、東海大学付属高輪台高等学校・青森県立青森高等学校・山口県立萩高等学校・八斗高校（台湾）・暖暖高校（台湾）・基隆高校（台湾）・中山高校（台湾）・アニモリーダーズハイスクール（米国）とたくさんの高校生同士が「マイクロプラスティック」という共通する探究的な課題のもと、英語でポスターセッションをしました。

**3.ワークショップ・提言**

テーマは、「マイクロプラスティックを削減するために私たちは何ができるのか」でした。6~8名程度の国籍を超えてグループを作り、各グループ英語で話し合いを進めました。研究データの共有だけでなく、どのように成果を社会へ還元するか議論できたことは、本校SSHとして新しい試みとなりました。



## 探究科サマーセミナー

### ◆7月24日

国際探究科を希望する1年生、国際探究科2年生50名程度を対象に、国際探究科の学びに必要な思考力、判断力、表現力の資質・能力を高めるため探究科サマーセミナーを開催しました。



### ◆8月20日

理数探究科を希望する1年生対象に、福井県年縞博物館にて理数サマーセミナーを開催しました。年縞研究の第一人者である立命館大学古気候学研究センター長 中川毅教授のもと、若狭町水月湖年縞と花粉分析について学びました。



## 訪問研修

### ◆大阪府立大学

8月7日、文理探究科1年生が大阪府立大学放射線研究センターを訪問し、放射線の性質や放射線を利用した製品、医療について、講義や体験に参加してきました。



### ◆大阪大学

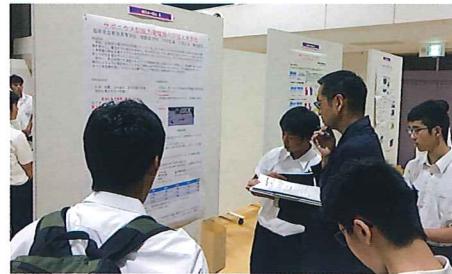
8月7日～9日、1年文理探究科、2年理数探究科・普通科より希望者が大阪大学大学院工学研究科にて訪問研修を行いました。近藤明教授による『ヒートアイランド現象の測定と解析』など、3つの分野の実習研修でした。



## 校外発表会

### ◆第1回 FESTAT

7月28日、香川県観音寺市民会館ハイスタッフホールで開催された全国統計探究発表会「FESTAT」に、2年理数探究科8名が参加し発表してきました。



### ◆SSH生徒研究発表会

8月7日～8日、全国生徒研究発表会に3年生3名が参加し「マイクロプラスティックの成分分析」について発表してきました。



### ◆第4回全国高校生SBP交流フェア

8月23日～24日、交流フェアに参加してきました。豪華な審査員の方々からたくさんの評価をいただき、たくさんの副賞もいただきました。2日目はワークショップがあり、自分たちの研究や取組をどう社会に役立てていくかつなげていくか学びました。



## 特別講座

### ◆地域の方から学ぼう

6月12日、1年生の生徒対象に小浜・おおい・高浜・若狭の4市町の行政に携わる方々を講師としてお招きしました。1年生は各市町担当者の方々から専門分野に関わるお話をいただき、質疑応答を行ったあと課題設定を行いました。



## ◆理数グランプリ学習会

8月26日、ふくい理数グランプリに向けての取組として、今年度は本校卒業生による夏休み学習会を行いました。この日は、島根大学の河合先輩が地学チームへの指導を行ってくださいました。グランプリ体験者の先輩から直接ご指導いただくことで理解が進むとともに、生徒一人ひとりの課題も見つかりました。



## 探究協働会議

### ◆6月6日2年国際探究科

7日2年理数探究科

12日2年普通科

13日3年国際探究科

生徒が取り組んでいる課題研究の研究テーマや研究手法についてそれぞれ講師を招き、専門家からのアドバイスをいただきました。



## 受賞記録

### ◎「ふくい理数グランプリ」

#### ★生物分野最優秀賞

2年理数探究科 チーム「線香花火」  
竹原彩夏、高橋優羽、田中沙和奈

#### ★化学分野優秀賞

2年理数探究科 チーム「共犯者」  
川井拓海、坪内大河、平井達也

### ◎「第4回全国高校生SBP交流フェア」

#### ★ベネッセ賞

3年普通科 木崎誠太郎

#### ★マルシェ賞

3年海洋科学科 大道風歌、飛永朱莉

2年海洋科学科 柚木沙都